



平成21年8月7日

各位

会社名 三菱レイヨン株式会社
代表者名 取締役社長 鎌原 正直
(コード番号 3404)
問合せ先 広報・IR室長 指山 正敏
(TEL 03-5495-3100)

第6次中期経営計画見直し (今後の三菱レイヨングループの経営について)

三菱レイヨングループは昨年5月、2008年度から2010年度までの第6次中期経営計画「グローバルUS→2010」を策定いたしました。

然しながら、世界同時不況の影響を受け、初年度業績は計画値を大きく下回りました。また2009年度に入り回復傾向は感じられるものの、先行きの不透明感と回復の足取りの重さは否めない状況です。

一方、中期経営計画において重要施策と位置づけた「コア事業の拡大」に関しては、本年5月28日にルーサイト社の買収を実現し、グローバルに展開する企業グループとしての大きな一歩を踏み出しました。また課題事業についても、アクリル繊維事業を中心に構造改革を断行いたしました。

こうした状況を踏まえ、第6次中期経営計画を見直すとともに、2018年までを念頭においた三菱レイヨングループのありたい姿「New Design MRC」を策定しました。

「New Design MRC」では、コアであるMMA系事業は、より強力なビジネスモデルへの変革を追求し、世界No.1ポジションの強化に邁進します。併せてアライアンス、M&Aを積極的に活用し、次のコア事業の育成を図り、「高収益型、成長型三菱レイヨングループ」の実現を目指します。

第6次中期経営計画見直し後の数値目標は、2010年度 売上高4,800億円(前回発表5,000億円)、営業利益240億円(同400億円)、2018年近傍のグループ全体では、売上高1兆円、営業利益1000億円とします。

「New Design MRC」(第6次中期経営計画見直しを踏まえ)について

1. 基本目標

- 世界市場トップのコア事業群を構築する
- 2018年近傍で売上高1兆円、営業利益1000億円を達成する

2. 重要課題

(1) コア事業(MMA系事業)のグローバル戦略を加速

- ルーサイト統合によるシナジーの早期最大化
- MMAの更なる強化、拡大

圧倒的なコスト競争力を有するMMAプラントを早期に新設する

中東またはアジア地域に、アクリル樹脂成形材料、アクリル樹脂板プラントを新設する

(2) 環境関連ビジネスをキーワードに次のコア事業の育成

- CF事業の強化
低コストCFの開発を加速しつつ、成長分野である風力発電、自動車用途への展開の拡幅強化を推進する
2015年近傍に産業用途において、リーディングポジションを確立する
- 水環境事業のグローバル展開加速
膜生産量の大幅な増強と低コスト化を急ぎつつ、アライアンスを活用した事業拡大、海外展開を加速する

(3) 新規材料開発、新規事業創出

- 自動車関連、電子材料関連、ライフサイエンス関連に経営資源を集中し、コア事業および次のコア事業周辺領域を拡大する

(4) 事業競争力強化活動〔JK→2010〕の継続推進

- 当面の緊急対策の継続と、事業競争力の抜本的見直しを実行する

(5) 課題事業の構造改革の継続推進

3. 数値目標

第6次中期経営計画見直し後の数値目標は、次の通りです。

単位：億円	08年度実績	09年度予想	10年度目標	18年近傍目標
売上高	3,450	3,700	4,800	10,000
化成品・樹脂	1,568	2,280	3,080	
アクリル繊維・AN及び誘導品	473	330	400	
炭素繊維・複合材料	379	220	350	
アセート、機能膜その他	1,030	870	970	
営業利益（数理計算差異償却前）	△17	95	240	1,000
化成品・樹脂	44	180	240	
アクリル繊維・AN及び誘導品	△91	△10	0	
炭素繊維・複合材料	19	△75	△30	
アセート、機能膜その他	11	0	30	
設備投資額	443	08～10年度累計	900	
減価償却費	271	08～10年度累計	820	
研究開発費	134	08～10年度累計	400	
EBITDA（営業利益＋減価償却費）	262	400	620	1,700
配当（円/株）	4	未定		

以上